

目黒稲門会会報



(題字: 眞仁田 勉 初代会長)

第99号 2023年5月

発行人: 川崎 秀一 編集長 細谷 清 事務局長 吉野 博明
事務局: 〒153-0053 目黒区五本木2-22-6 Tel: 03-3713-1684
ホームページURL: <http://me96tomon-waseda.la.coocan.jp/>

2023 年定時総会開催のご案内

2023 年目黒稲門会定時総会を、下記の通り開催致します。

会員の皆様にはご多用の中と存じますが、是非ともご参加下さいますようご案内申し上げます。

第1部定時総会では、2022 年度事業実績報告、同決算報告及び監査報告、2023 年度事業計画案、同予算案、等の審議を予定しております。

第2部の懇親会では、「早稲田大学ケルト音楽同好会」の出演による軽音楽を企画しております。

夏の熱気に乗せて大いに語り、大いに飲み、早稲田の絆を深めたいと存じます。ご家族お揃いでのご参加を歓迎致します。

ご参加の皆様には、例年通りクールビズでのご参加をお願い申し上げます。

記

1. 日時 2023 年 7 月 9 日 (日)
受付開始 15 時 30 分
総会・懇親会 16 時～19 時
2. 会場 ホテル雅叙園東京
2 階華しずかの間
目黒区下目黒 1-8-1
電話: 03-3491-4111 (代表)
3. 交通 JR 山手線、東急目黒線、
地下鉄南北線、三田線、
目黒駅下車徒歩 5 分
4. 会費 会員 10,000 円/人
ご同伴家族 5,000 円/人
会費は 6 月 30 日 (金) までにお振込ください。
5. 出欠会報に同封のハガキにて 6 月 25 日 (日) までに
ご連絡下さい。(吉野 記)

早稲田大学ケルト音楽同好会

はじめまして。我々早稲田大学ケルト音楽同好会は 2013 年に設立され、今年で 10 周年を迎える比較的フレッシュなサークルです。活動内容は年 4 回の演奏会をはじめ、会員が伝統曲を持ち寄りサークル内で教え合う“曲出し”やセッションを行う定期練習、また、ご依頼に応じてパブやカフェ、イベント会場での演奏を実施しております。

さて、皆様はケルト音楽をご存知でしょうか。ケルト音楽とはアイルランド、スコットランド、フランスのブルターニュ地方やスペインのガリシア地方などといったケルト文化圏で伝わる伝統音楽のことを指します。主にハープやバグパイプ、フィドル(楽器自体はヴァイオリンと同じですが奏法が異なります)、小さな縦笛ティンホイッスル、アコーディオン、バンジョーなどで演奏され、日本国内では映画「タイタニック」の三等船室でのパーティーシーンや無印良品の店内音楽として聴き馴染みのある方もいらっしゃるかと思います。陽気でハイテンポなダンスチューンから穏やかでゆったりとしたバラードソングまで多様な楽曲があり、それらに特徴的なリズムやメロディラインは聴く人をやがて異国の地へと旅立たせてくれます。そしてこの音楽は貴族による



る宮廷音楽というよりは農村地帯で田畑を耕す民衆の暮らしの中で育まれてきた文化によるものであり、本場アイルランドで

は酒場や家に集まって演奏者も聴衆もビールを片手に演奏を楽しむそうです。当日は皆様にもそんな賑やかな雰囲気を演奏で伝えられたらと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。

幹事長 田代 士紋 (創造理工学部 3 年)

各部会からの案内・報告

俳句部会

第154回「俳句部会報告」

日時 2023年4月10日(月) 郵送句会(順不同)

川井素山 白魚と喉にて別れ南無阿弥陀
保井寶正 蝌蚪の紐十日の命生き継がり
佐久間喬 北へ向く曲がり角あり鳥雲に
丸山酔宵子 給食のコップで掬くふ蝌蚪の群れ
吉田啓悟 桜湯の小さき宇宙の開きゆく
青木英林 仏壇に鈴の音響く若葉冷え
山本草風 竹林の雀飛び立ち風光る
佐久間たか子 潔き球児のバット春動く
渡辺鯨波 庭下駄の鼻緒が切れて蝌蚪生るる
後藤克彦 潮干潟穴穴に月日貝
原 晶如 碧き香を撫でてつまんで山椒の芽
永井正孝 酒飲みの言い訳となるシジミ汁
金森純女 若葉冷え野を行く人の耳赤き
青葉ひかる 誤解知りなお傷深き花曇り

※「蝌蚪(かと): おたまじゃくし」

中原主宰の選んだ秀句と評

白魚と喉にて別れ南無阿弥陀

胃酸で直ぐに踊り食いも一カンの終わりご愁傷さま

庭下駄の鼻緒が切れて蝌蚪生るる

緒=紐のニュアンスだと蝌蚪の紐(ヒモ)とどこか通じる訳で偶々使い古しの下駄の鼻緒が切れたーそれと切れてでてくる蝌蚪

誤解知りなお傷深き花曇り

この傷は心のキズであり晴れやかな気分になれないーよくある誤解である

俳句部会長 佐久間 喬

囲碁部会

コロナ禍が続いている為、2021年秋より「呼びかけの碁」というネット碁を使い、対面で会うことなしに部会員同士対局しています。

2022 下期第二ラウンドのリーグ戦結果は、1位小倉氏、2位保井氏、3位大久保氏、でした。皆さんのご参加を歓迎致します。市川までご連絡下さい。

囲碁部会長 市川 亘

早稲田スポーツ観戦部会

4月16日(日)、春の三大早慶戦(レガッタ、アメフト、野球)第1弾として、隅田川の新大橋上流から桜橋上流において、『第92回早慶レガッタ』が3年ぶりの有観客で開催されました。12時30分に桜橋に集合、第2エイトおよび対校エイト(にわか雨のため約30分遅れてスタート)の観戦応援をしました。残念ながらいずれも大敗しました。(対校エイト:4艇身差)



ト:4艇身差)

試合後の反省会で、来年の奮起を願い、美味しいお酒を酌み交わしました。

4月29日(土・祝)、「第71回早慶アメリカンフットボール対校戦」を予定していましたが、慶応側の不祥事により中止となりました。



早稲田スポーツ観戦部会長 狩野 俊夫

女子企画ランチ

2月18日(土)、女子会企画での庭園美術館鑑賞会は、晴天にも恵まれて8名の参加となりました。

旧朝香宮邸として使用されていたこの美術館、家具やインテリア、衣服など、日々の暮らしの中にある美しさを再発見させてくれる企画展示は、約1時間の滞在でも十分にリフレッシュさせてくれるものでした。



鑑賞後イタリア料理店での会話も弾み、展示に触発されて大学時代の美術史講義の思い出、パリで訪れた美しい教会の話や、目黒での暮らしのこと、お互いの近況報告など。市瀬夫人による秘伝の「ママカレー」レシピも公開され、元気な再会を期してお開きとなりました。

女性企画ランチ幹事 瀬下 智子

ボランティア部会

3月10日（金）9時半に6名の会員が区民センタに隣接する田道ふれあい橋に集まり、昨年12月に引



き続き目黒川沿道の清掃作業を行いました。次回は7月初旬の予定。

今後とも当部会へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

ボランティア部会長 小杉 哲

麻雀部会

4月17日に昨年6月以来となる麻雀部会を開催しました。永らく中止が続いていましたが、久しぶりの開催で多くのメンバーが集まることを期待しましたが、入院中や体調不良のメンバーが居て残然ながら2卓8名での対戦となりました。

ルールは従来通りの、東南半荘4回戦で最初の3回戦は50分、最終戦のみ成績順での60分制です。



結果は、初回から独走態勢を続けた松尾氏が大差の優勝、2位村上（柁）、3位猪名川、ブービー千野の各氏でした。

次回は6月19日（月）を予定しています。

麻雀部会長 村上 柁

ウォーキング部会

第155回「寺家（じけ）ふるさと村…里山の自然を愛でる」 2023年4月19日（水） 参加11名

東急田園都市線青葉台駅→東急バス「鴨志田団地」→寺家ふるさと村四季の家（総合案内所）→山田谷戸→南（農産物）直売所→ブルー・ドア・コーヒー店→東急バス「鴨志田団地」→青葉台駅

寺家ふるさと村は多摩丘陵の南西に位置し、奥山から流れる水を利用した谷戸田とそれを取り囲む雑木林の丘の豊かな植生に恵まれた、里山です。

今回は目黒稲門会の幹事・編集委員を務める田島清志さんに案内して頂きました。

田島さんは里山保全活動NPOの樹木・環境ネットワーク協会メンバーで、寺家ふるさと村には百回ほど通っているベテラン。



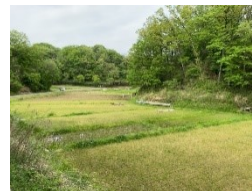
四季の家レク風景



四季の家前で

最初に、四季の家で「里山」や「寺家ふるさとむら」について簡単にレクしてもらいました。（只管歩くだけのウォーキング例会で、レクが入るのは異例のこと。幾つになっても学習を心掛ける殊勝さよ！です。）

四季の家の展示コーナーで、寺家ふるさと村に生息する動物・小動物や植生を概観した後、四季の家の前に左右に細長く広がる山田谷戸をぐりと回りました。



田園風景

途中雑木林に入って特徴のある植物を探しながら、野鳥の声に耳を澄ませてみたり、道路脇に可憐な花を咲かせる野草たちを見つけては歓声を上げるなど、普

段のウォーキングとはまた趣の異なった例会となりました。

山田谷戸の突端にある大池を回りこんで谷奥に入り、池に注ぐ小さな流れがオニヤンマの幼生が育つ水辺である事を教えてもらい、その脇に生える小さ



キンラン

な南天が実をつけていて、「はて、何故こんなところに？」と思ったところ、田島さん曰く「鳥が南天の実を啄んで、糞に混ざった種がここに落ちて芽生えたのですよ」と、納得の説明でした。里山での動植物の営みが、豊かな自然を形作り、そこに住む人々もそ

の自然の豊穡な恩恵を受けながら暮らしてきたことが良く分かる一瞬でした。

普段は気にも留めなかった道端の野草の小さな花に、目を輝かせて「これは何の花？」と田島さんに聞きまわりながら、わくわくしながら歩いた一日でした。

四季の家の山田谷戸をはさんで対面にある農産物売所で草餅や野菜などを買い求め、その先のブルー・ドア・コーヒー店で美味しいコーヒーを飲みながら一休み。それからバスで青葉台駅まで行き解散となりました。



ブルー・ドア・コーヒー店

ウォーキング部会長 吉野 博明

三浦半島城ヶ島の地学巡検



山内 宏 (昭和 56 年 教育)

教育学部・理学科・地学専修の同期有志 7 名 (約 45 年もの時空間を経て) で三浦半島の城ヶ島地質巡検を 3 月に行いました。主目的は、地層観察を肴にして、お酒やおいしいマグロ料理を戴きながら地学談義やら

四方山話を語らうことでもあります。

さて、城ヶ島は、三崎層とそれを覆うとされる初声



図 1

層で形成されています。(図 1)

まずは、バスの終点より、海岸域に進みますと三崎層が目の前に広がります、約 1200 万～440 万年前に水深 2000～3000m 堆積された地層です。火山灰が固まった凝灰岩に溶岩のかけらが多々観察され洗濯板のような地形をなしており沢山の断層も観察されます。

(図 2)



図 2

30 分程、岩場を東方向に歩き続けると、初声層が観察されるようになりますこの地層は 440 万～400 万年前に堆積された地層



図 3

より形成されております。三崎層を削って数百メートル深さのくぼ地を埋めた堆積物で、三崎層には無かった砂や礫が含まれます。

代表的な観察ポイントして馬の背洞門 (図 3) があります。波によって削られた海食洞です。斜交葉

理という地層も発達しております (海食されやすい地層とも考えられます)。三崎層と初声層の境界には、図 4 に示すような



図 4

断層を繰り返す露頭も観察されます。城ヶ島には、その他、観察ポイントが多々あります。

面白いのは、三崎層にスランブ構造や火炎構造 (図 5) といった地層も観察されます。



図 5

さて、城ヶ島からは、お天気の良い日には、富士山の雄姿も観察され絶好の撮影ポイントでもあります。約 2 時間の城ヶ島地質巡検を終えての楽しみは、同期仲間達と地元の旅館「さんご荘」さんにて、お酒のお供に三崎名物のマグロのお刺身を堪能したことでもあります。(図 6)



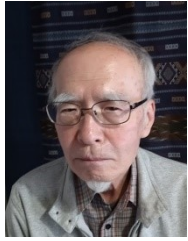
図 6

是非一度、城ヶ島の旅を楽しまれては。

また地学を楽しむ関東での観光スポットとして、城ヶ島の他に、埼玉の長瀨、千葉の鋸山、屏風ヶ浦などが有名ですが、都内でも街中の地学、ビルの建物に使われている花崗岩、石灰岩や化石などを探す旅も面白いかと、東京駅や三越本店でも見られます。

今後も身近な地学面白スポットを紹介して参りたいと、そして地学愛好家が増えていただければ幸甚と思う次第です。

3年振りのタイ国への旅行



村上 矩 (昭和 44 年 政経)

2020 年 2 月 29 日にバンコク (BKK) から帰国して以来、コロナ禍の為丸 3 年東京に閉じこもっていましたが、規制緩和を受け 2 月 28 日に羽田からの午前直行便で 10 日程 BKK に行ってきました。

最初は、一部規制もあることから乗客はそれほど多くないだろうと予想していましたが、羽田に着いたら驚きの大行列。チェックインに 50 分以上掛かり、更にセキュリティチェックにも同様の時間が必要でした。おかげで空港の免税店での買い物時間がほとんど無くなり、大慌てしました。機内は満席で、やはり自分と同じく満を持していた人がいかに多かったかを証明していました。

今回の目的は 3 年間で BKK がどのように変わったかを確認する下調べで、観光等は全く考えていませんでした。

短期間のため、ホテルは空港からのアクセスが良いパヤタイ駅近くのスコーソンホテルを予約、一応 5 スターでした。ビュッフェ形式の朝食が 2,000 円を超えるため、今回は朝食無しのプランでした。

夕刻にホテルチェックイン後、前によく行っていたランナム通りのイサーン料理の店が集まった地区に行き変貌をチェックしたところ、約 3 分の 1 が閉店もしくは退去していました。馴染みの一軒でシンハビールと持ち込んだ焼酎を飲みながら料理 2 品を注文、味と値段は変わっていませんでしたが、顔なじみの店員が一人も残っていませんでした。

翌朝食は前回までは、駅前の屋台でのお粥が定番でしたがこれも無くなっていました。しょうがないので近くのセブンでサンドを買い部屋で食べました。朝食後、8 時過ぎからホテルのジムで 1 時間ほど筋トレ、これは毎日続けました。

午前中に BKK 銀行に行き ATM カードを確認したところ、この 3 年間に 4 桁の暗証番号が 6 桁に変更されており現行カードは使用不可とのこと。早速新カードの作成を依頼、1 時間ほどで入手でき無事使用可能となりました。そのあと、従来通っていたタイ語学校を訪問、秋口の再勉強を予約しました (8 月下旬から 9 月下旬)。

現地気候は初夏で、連日 32~34 度、ただし乾期で湿度低いため爽やかに感じました。

4 月が真夏で 40 度前後まで気温上昇し TV でも放送されるタイ旧正月のソンクラン祭り (水かけ祭り) が 4 月 13 日から 15 日に掛けて開催されます。

観光地に行っていないので詳しくは分かりませんが、印象として中国人と韓国人が相当増え、日本人はあまり会うことはありませんでした。

通常、ホテルにはタイ語・英語・日本語のメッセージが有ったものですが、今回は日本語が韓国語に変わっていました。

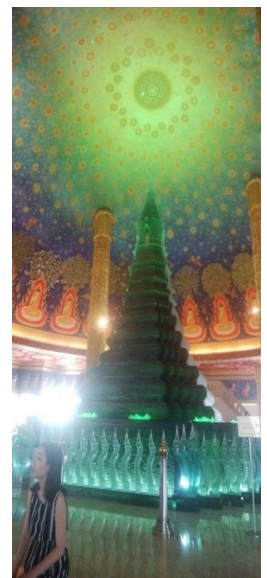
また、物価の上昇を至る所で感じさらに円安の影響も加わり、生活費の高さは 3 年前と比べ 2~3 割ほどアップとの印象でした。

都内の鉄道網がこの間延伸され、BTS (高架鉄道) や MRT (地下鉄) ともにかなり遠くまで行くことが出来るようになっていました。BTS の回数券は従来 10 回とか 30 回の回数制でしたが、今回は金額制に変わり当初に 300 バーツ購入で乗車料金ごとに引き落とされる方式となり、日本のスイカと同じプリペイド式になりました。

最終日前日に時間があつたので、ワットパクナムという日本人観光客に人気のお寺に最近巨大な大仏が完成したとのことで確認しに行きました。高さ 60m 以上の巨大な座像で屋外に展示されているため近くの駅からも目にすることが出来ました。



大仏ワットパクナム



ワットパクナム本堂

次回は 8 月下旬から 9 月下旬の 30 日を予定しており、当初の 1 週間程度は妻を同道するつもりです。

では皆さん、“サワディー・クラブ”

(参考)

目黒稲門会第 58 号 P7 「タイ語の勉強」 (村上 矩)

http://me96tomon-waseda.la.coocan.jp/doc/Kaiho_58_1303.pdf

囲碁の歴史と絵画のお話



市川 亘（昭和 51 年 商）

下図の作品は、関羽が右腕に毒矢を受け、通りがかりの名医華佗の手術を受けているところです。痛い手術にも拘わらず、関羽は酒を飲みながら馬良と囲碁を打っています。

関羽は痛いのかそうでないのか、顔の表情に注目です。三国志の一場面です。

この作品の作者は、葛飾応為。この名、多くの方はご存じないかもしれません。実は葛飾北斎の三女「お栄」です。彼女は絵師の南沢等明と結婚したのですが、夫の絵の稚拙さを笑ってしまい、離婚されてしまいます。以後北斎の製作助手を務めて一生を終えたようです。

彼女は 10 点程作品を残していますが、どれも取り



葛飾応為「関羽割臂図」

あげる画題や構図や画力が秀逸で、流石に北斎の娘だけあります。

この作品と同時代ですが、呉の孫策と呂範の対局の棋譜が、世界最古の棋譜として現存していますが、この棋譜の真偽の程は判りません。

と言いますのも、後漢末当時は 17 路盤の碁盤が見

つかっており、故に 19 路盤の棋譜が残っているのはおかしいという訳です。とはいえ、この時代に囲碁は盛んに打たれていたのは確かなようです。

さて、三国時代と言えば、日本では魏志倭人伝の卑弥呼の時代です。魏、蜀、呉の魏志の中の倭人伝です。日本の古代史の中でも未だ謎多き時代です。

（注）

現在の碁盤は 19 路盤（19 x 19）ですが、中国の文献には、古代は 17 路盤（17 x 17）であったとあります。

1953 年に中国の保定の近く望郷で古墳が発掘され、そのとき石製の十七路盤が出土して、古代の記録の正しいことが証明されました。

相続よもやま話 その6

尾崎 充（昭和 63 年 政経 公認会計士・税理士）

多くの相談を受けていて、「本当はこうしておけば良かったのになあ」と感じる事があります。

実際にあった事例をいくつか紹介したいと思います。

～自筆証書遺言を作成した場合～

- ・記載に不備があり無効となった事例
- ・遺留分を考慮しない内容で争族となった事例

【対策】

専門家に相談のうえ、公正証書遺言を作成する

～不動産のみ相続させる遺言を作成した場合～

- ・納税資金を個人財産から支払うこととなった事例
- ・不動産を売却せざる得なくなった事例

【対策】

生命保険の活用などにより納税資金も考慮しておくこと

～毎年 110 万円ずつ 10 年間にわたって贈与をしていた事例～

子供への贈与が毎年の暦年贈与として認められず、毎年 110 万円ずつ 10 年間にわたって贈与することを約束した権利の贈与（定期金給付契約に基づく定期金に関する権利の贈与）として、1,100 万円に対して贈与税が課税された

【対策】

毎年贈与する際には、贈与契約書を作成のうえ、贈与契約を結び、それに基づき毎年贈与を行うようにする

～毎年子供の口座に振込みをしていたが親が通帳を管理していた事例～

預金口座を親が管理していたため、子供名義の預金について贈与の事実が認められず、名義預金として親の相続財産とみなされ、相続税が課税された

【対策】

子供名義の口座については、子供が通帳、銀行印、キャッシュカードを管理し、子供が自由に引き出して使用することができる状況にしておくこと（管理支配基準）

なお、遺言書を作成したら相続人に遺言書の存在を伝えておきましょう。当たり前ですが、相続人が複数いて遺言書の存在を知らなければ遺産分割協議により遺産を分割することになりますし、協議が整わなければ相続人間で争いになってしまいますからね。

目黒わが町自慢

原町 安藤 孝 (昭和 46 年 商)

東急目黒線の西小山駅北側に伸びる西小山商店街(にこま通りとニコニコ通り)を中心に広がる「原町 1 丁目」と、更にその先南西方向に展開する、閑静な住宅地である「原町 2 丁目」からなります。2 丁目は「円融寺通り」が中を貫いており、東急バス路線(渋谷～洗足)が走っています。

西小山駅前には再開発が進み、昔ながらの飲み屋街の雰囲気は今はありません。商店街も代替わりが進み、テナントが増えてはいますがまだ個人商店もあり活気は衰えてはいません。私の思い出の店は、いずれも今はもうないが“甘味処・千草”と“フルーツパーラー・田中”で、学校帰りに立ち寄っていた所でした。一方、本屋さん“一弘堂書店”やクリーニング屋さん“伊川ランドリー”は健在で、商売を続けています。また商店街からは外れますが和菓子屋さん“風林堂”はいまだに地域には根強い人気のある店です。

「原町」はその名の通り、坂がない平坦な土地で以前の農地は宅地化されて現在に至っています。しかしその由来は古く碑文谷八幡の祭礼では、明治・大正の時代から氏子としてその名(原・子の神集落)を残しています。秋の大祭では町内から神輿の奉納があります。

「原町小学校」は、昭和 13 年(1938 年)近隣の碑・向原・大岡山の各小学校から児童が移籍して新設され、その後昭和 20 年 5 月の戦災では地域が全滅に近い状況だったにも関わらず何故か戦禍を免れて、現在に至っています。

「宮野古民家自然園」は江戸時代の地主・宮野家の建物・庭園や屋敷林を残しており、目黒区史跡に指定されています。町の往時をしのぶことができる貴重な存在です。町境の北を流れている



宮野古民家自然園

立会川は昭和 47 年(1972 年)暗渠化され、現在遊歩道(碑文谷八幡～西小山)として親しまれていますが、植えられている桜は老木となりつつあり伐採された木もあります。

最後に、現目黒区長の青木英二氏の実家は原町 2 丁目にあります。彼は以前に少年野球チーム“原町シャークス”の監督として、地元の小中学生を相手に熱心に指導していたそうです。

目黒の坂巡り

なべころ坂 田添 麻友 (平成 17 年 政経)

一説では、なべが転がるほど急な坂ということで「なべころ坂」と言われているようですが、中目黒 4 丁目の高台から山手通り近くまで続く坂です。坂の高台には、坂と同名の「なべころ坂緑地公園」という小さな公園があり、その横には「藤の庚申」と呼ばれる庚申塔が一つそと寄り添っています。

また、私立保育園(旧区立中目黒保育園)や改装されたばかりの中目黒特別養護老人ホームもあります。私の 3 人の子どもの下の子 2 人がこの保育園にお世話になり、また長男が山手通りにある目黒警察署の少年剣道教室に通っていたので、よくこのなべころ坂を使って山手通りに出ていました。下りはスピードが出ないようにブレーキをかけて子どもたちを乗せて自転車で駆け降りますが、上りは子どもたちに全員降りてもらって自転車を押して上がっていました。

坂の下には珍しいお店があります。レコードとカセットを扱う「waltz」というお店です。今は音楽を聴くのはインターネット経由が増え、CD も売れなくなってきている時代にレコードとカセットという異色のお店ですが、温かみのある音を目当てに若いお客さんが来るそうです。

さて、この坂に沿うように、東京ガスの大きな社宅ともう一つ各国駐日大使の共同住宅があります。この社宅と共同住宅ができる前は、ガスタンクがあったそうですが、平成 2 年から目黒区と東京ガスとの間で協議され、公園や遊歩道などと併せて整備されたとのこと。

なべころ坂を上るのは急すぎてつらいからか、坂に合わせて階段が続く遊歩道は地域の人がよく利用しています。遊歩道を上り切って、左に進むと「現代彫刻美術館」があり、美術館に入らなくても野外展示場があり、高台にあるからその眺望が広がっています。なべころ坂と目黒の眺望を楽しんでみてはいかがでしょうか。



なべころ坂



中目黒南緑地公園
遊歩道

会員ギャラリー

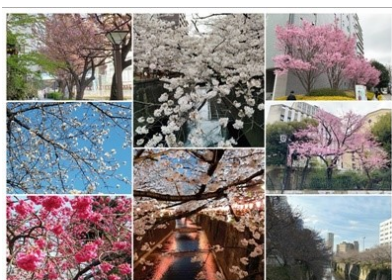
『アンダルシアの光』 油彩 F10号

大杉 邦雄 (昭和40年 法)



数年前、南スペイン、アンダルシア地方の コスタデルソル (太陽の海岸) に出掛けたときに描いたもの。白壁の家並みが、青空を背に海に向かって立ち並び、太陽の強い光を反射する白い壁は花々で飾られていた。

『2023 サクラ』 写真 応募会員全作品



QRコード

全作品は、HP に格納されています。

- ・スマホからご覧頂く場合、上記 QR コードをスマホのカメラから読み込むか、スマホの「QRコード読み取り機能」から読み込み、表示された URL をタップします。
- ・電子版会報をご覧頂いている場合、下記 URL をクリックします。
http://me96tomon-waseda.la.coocan.jp/flowers_2023sakura.html

新入会員



木村 誠司 (昭和51年 商)
(江戸川区南葛西在住)

渋谷区生まれ育ちです。目黒区はお隣で程よく住宅街、少しお洒落な街並みが気に入って、入会しました。

銀座で30年、朝日専属の広告代理店の営業マンで首都圏は行っております。卓球、野球、音楽、読書が大好きです。気軽にお声をかけて下さい。



北村 造 (いたる) (平成18年 政経)
(目黒区上目黒在住)

2006年政経学部政治学科卒の北村造と申します。3月まで文京区に在住しており、4月より上目黒3丁目に転居してまいりました。米国系の資産運用会社に勤務し、不動産関連資産への投資業務を行っております。

校友会便り

——東京都23区支部大会開催——

2023年3月12日(日)、2022年度東京都23区支部大会がリーガロイヤルホテル東京で開催され、290名、目黒より12名が出席しました。

第1部「講演会」では中林美恵子教授による「激動する国際秩序と米国政治および日米関係」に関する講演と田中愛治総長(代行渡邊義浩早稲田大学常任理事)による「早稲田大学の改革と伝統の継承」についての講演がありました。



第2部の「懇親会」では、アトラクションとして外山嘉雄・恵子&デキシーセイन्ツによるデキシーランド・ジャズの演奏をたっぷり楽しみ、最後に応援部の指揮のもと「紺碧の空」、「早稲田の栄光」および「校歌」を高らかに歌い閉会しました。
(金井 記)

お詫びと訂正

会報第98号P2左欄の写真キャプションに誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

【正】松方 正彦 【誤】松方 弘樹

編集後記

二桁最後の発行号をお届けできる安堵感に浸り、これ迄の発行に携われた諸先達のイキを感じています。

元気に迎えた新年会から新緑へと時は過ぎ、二ヶ月後には総会を迎えようとしています。

今話題のチャット GPT で当会報の今後の在り方を訊ねた役員の方から、結果を教えてくださいました。指摘された若い方を巻き込む等の諸点は取り組んでいます。AIは常識を答え、その先を考えるのはやはり人間でした。
(細谷 記)